

荒木川流域プロジェクト活動発表会に110名参加！



↑矢野大和（やのたいわ）さんの口演に会場は笑顔があふれました（まだまだ写真に入りきれない参加者多数）

二〇一七年九月二十九日に安岐町下山口の浄土宗・妙見山浄泉寺において「荒木川流域プロジェクト」を開催しました。この発表会は、荒木川流域全体の住民をはじめ、広くプロジェクトの活動を紹介し、理解と協力を求める「お披露目イベント」と位置づけて開催しました。

また、当日は大分市内から「荒木川流域見学バスツアー」も行い、県内各地から二十名の参加者が木田憲治さんのガイドで、荒木川河口から源流域を見学し、午後から発表会に合流しました。

開会あいさつは、おおいた有機農業推進ネットワーク代表（日本文理大学教授）の杉浦嘉雄氏、次に「笑って元気」誇りのもてる地域 自然を大切に「のたいわ」さんが口演しました。参加者の一人が「一分に一度は大爆笑だったね」と振り返るよ

うに、超満員の会場は終始笑顔で溢れました。

発表会は、「荒木川流域プロジェクトとは」（おおいた有研事務局長）、「地域農業の明るい未来のために」（木田憲治氏）、「子どもたちに地域の魅力を伝える」（中野昭純氏）、「三角ベースの取り組み」（荘司壽子氏）が行いました。参加者のみなさんも最後まで熱心に聞いてくださいました。なお、閉会あいさつを荘司豊氏（三角ベース）、司会進行は渡邊貴志氏（三角ベース）が行いました。

発表会は、浄泉寺の本堂をお借りすることができて、会場の雰囲気が一味違ってとても良かったと思います。住職の中野昭純氏をはじめご家族の皆様に変なお世話になりました。また、木田憲治氏、三角ベースのみなさんも献身的にお世話くださり、厚くお礼申し上げます。



▲発表する木田憲治さん



▲発表する中野昭純さん



▲発表する荘司壽子さん



▲浄泉寺本堂の参加者



▲見学ツアー一行の記念撮影



▲荒木川河口を見学する一行

休耕田を再生したほ場にナタネの種をまきました！

固定種のキザキノナタネをみんなで植えました（左）。10日後には芽が出ていました（右）。

